



# ニセコリゾートにおけるよくある問題

- スキー場で怪我人が発生！
- 公共交通手段がない！
- 病院へ行くまでのタクシーが全くと言ってよいほど捕まらない！
  - パトロールが電話しても来てくれない
  - タクシーは面倒な客を乗せたくない！？
- 軽症者でも救急車を呼ばなければならない…
- 怪我人を少しでも緩和する為、スキー場に近いフィジオを受診させる
- **フィジオにてトラブル発生！**



# Physioからのトラブルケース

- "Physio"は医療施設ではない。あくまでも"マッサージ" "整体"。
- Niseko Physio, Focus Physio, Peak Physio…
- 怪我人が誤解/誤認するような看板広告、Webサイト、Wine&Dine…



- 急性外傷の専門家
- 膝外傷のスペシャリスト
- 前十字靭帯損傷の治療に関して画期的な研究中
- 旅行保険に対応可
- ドクターの診察も可能



# Physioからのトラブルケース

患者「スキー場で手、腰、足などを怪我し、ホテルスタッフ/パトロールにPhysio勧められて行った。サポーターだけ処方されたけど、痛みが強いし、なんかおかしいなと思って、NICに来た」

→レントゲン検査で、橈骨遠位端骨折、胸椎・腰椎骨折、足関節骨折

患者「肩脱臼し、Physioを紹介された。けど整復できず、受傷から2時間後にNIC受診した」

患者「なぜPhysioに送られたのだろうか？」「最初からNICに来ていればよかった…」「クリニックがあるとは知らなかった…」



# Physioからのトラブルケース

患者「Physioに行ったけど、旅行保険がおりない」

患者「診察料2万円以上、装具10万を請求され不信感を抱いた」

←シーズン前にPhysioはニセコリゾートの宿泊施設にて、「旅行保険も使えるから、怪我人を紹介してくれ」と営業活動。旅行保険が利用できないために後日NICを受診し、患者の二重負担になるケースが多い。

患者「Physioではドクターの診察も可能と宣伝していた」

患者「鍼での治療をしてくれた」

←実際にはドクターは不在で、オンラインでの診療のみ。医師法/医療法に抵触しないのか？というか、絶対するはず。

だけど、放置され無法地帯状態…



# ニセコリゾートにおける問題

- NICは17時で受付を終了するが、ナイターはやっている…
- それ以降は倶知安厚生病院の救急外来しか対応できない
- 救急外来は医師1名体制、各診療科の医師が必死に対応しているが、言語の問題や、専門外の診療で、医師の負担が大きい
- 受診した患者の満足度が低いことも…後日NICを再診することもチラホラ
- 交通手段がなくて、クリニック受診が困難、受診後も足がなくて帰れない… 深夜2時以降はタクシーすらない



# 無保険の旅行者

- スキー外傷は時に重傷…
- 20歳代アメリカからの旅行者、肩脱臼骨折で緊急手術が必要！だが保険も金もない！
- 受け入れてくれる医療機関が見つからない！転院まで数時間…
- 他にも、虫垂炎で緊急手術、急性中毒で緊急透析、急性心筋梗塞でステント挿入
- 数百万以上の高額医療費が発生することもある
- 受け入れた医療機関は未払い問題に直面

➤ スキー/スノーボードには危険がつきもの

➤ 旅行者には旅行保険に加入することを強く勧める/義務付ける、などの対策が必要

# ニセコリゾートにおける最大の問題

スキー場内にクリニックがない！ 2023年7月 視察



# スキーリゾート内にクリニック Perisher, AUS 2023年7月 視察



# スキーリゾート内にクリニック Perisher, AUS 2023年7月 視察





# スキーリゾート内にクリニック Thredbo, AUS 2023年7月 視察





# 世界のスキークリニック

<AUS>

Thredbo <https://www.thredbo.com.au/shopping-services/thredbo-medical-centre/>

<US>

Barton <https://www.bartonhealth.org/tahoe/ski-clinics.aspx>

<Canada>

Whisler <https://whistlermedicalclinic.com/>

Sun Peaks Community health centre <https://www.sunpeaksresort.com/explore/business-directory/sun-peaks-community-health-centre>

Big White Ski Resort <https://www.bigwhite.com/summer/explore-big-white/mountain-services/health-medical>

<France>

Courchevel <https://centremedicalcourchevel.com/>



# 対策1. ひらふスキー場にクリニックを！

- スキー場での傷病者は実は多い
- 世界の名だたるスキー場では、傷病者に迅速に対応できるように、スキー場内にクリニックを設置している
- ニセコリゾートを訪れる人々に迅速に医療を提供したい
- リゾート内の医療をNICが守ることで、羊蹄山麓全体の医療を支えたい
- ひらふ第一駐車場にひらふメディカルセンター（仮）の設置を！
  - 次のシーズンは、マウンテンセンター内にFirst Aidを設置予定
  - 医師確保、お金の問題あり…



## 対策2. 軽症者に対して公的救急車を安易に要請しないシステムを構築

- 旅行者、各スキー場、宿泊施設などの事業者に、救急車の適正使用について周知する
- 各スキー場が独自に傷病者を医療機関へ運び入れるための準備をする
- 軽症者は各スキー場が医療機関に搬送する
- 軽症者は民間救急車で医療機関に搬送する
- 軽症者はnicに搬送し、重症者は高次医療機関に搬送するなど、重症度に応じた連携/役割分担を行う
- リゾート内で可能な限り診療を完結できるようにする



# 対策3. 旅行保険の加入を！

- 旅行者には旅行保険に加入することを強く勧める/義務付ける、などの対策が必要

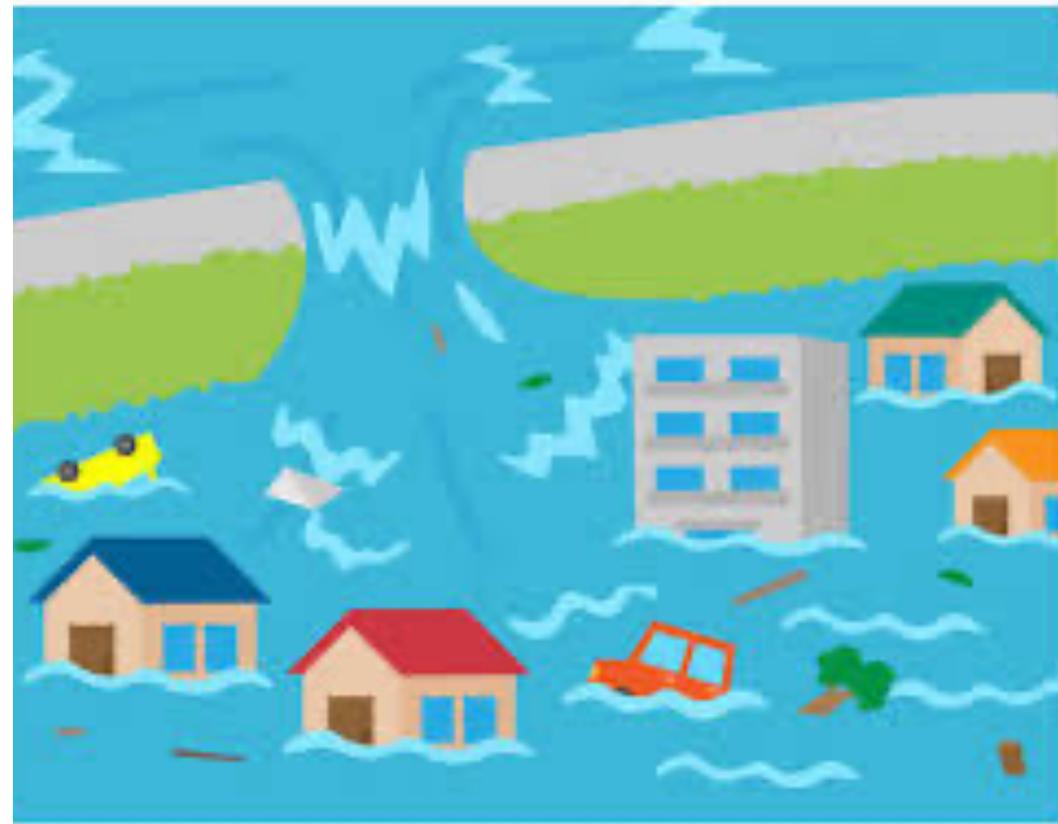
# 対策4. 患者に適切な医療情報を提供

- 各事業所にニセリゾートの医療体制について周知
- 観光客にも医療機関のかかり方や、各医療機関の特徴など、わかりやすく案内
- 適切な診断があつてのリハビリ/フィジオ
- 各法律に触れるような紛らわしい整骨院・接骨院の広告はNG（医療法第3条、医師法第18条）

# もしNICがなかったら…

ニセコリゾートの発展→患者数増加→一医療法人として対応できる限界  
→溢れ出した患者が地域基幹病院に影を落とす…

- 患者は行く先がなくなる!?
- 救急車が不足する!?
- 真の救急患者を救えなくなる!?
- 外国人患者が倶知安厚生病院に殺到!
- 地域医療崩壊!?





# 世界基準の安心安全な スノーリゾートを目指して

「NICやってないと困る…」

「NICは信頼できる!」

我々が山の医療を守るという  
覚悟、決意！

官民が一丸となり、世界標準的な  
スノーリゾートを目指しましょう

